

【22_013/技術系メルマガ】自分が狙う『波』のイメージをはっきりさせよう

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日は、僕が常に狙っている『波のパターン』について説明したいと思います。

これが絶対唯一の物ではないのですが、狙う波のイメージを一貫させることが

安定して利益を得るために重要である ということを、今回のメールで少しでも実感してもらえれば幸いです。

早速ですが本題に行きましょう。

■ 捉える波の『イメージ』を明確にする

まず、僕がトレードする際にチェックするのは、主に 2つの要素 の確認から始めます。

- ①空間の把握(どっちの方向に?どこからどこまでを狙う?)
- ②短期足のセットアップ

両者の要素がどちらも揃っている(揃う見込みがある)時、初めてエントリーします。

『空間の把握』には、主に『H4足以上』で『水平線・トレンド推移』を活用して行いますが

この辺は話し出すと終わらなくなってしまうので【デイトレ講座】の各論をちよつとずつ見て行ってほしいと思います(笑)

空間と方向が把握できたら、次に大事になるのが 短期足のセットアップ になります。

このセットアップを考えるにあたって、一つ意識をしてほしいのが

(これは至るところで聞く話だと思いましたが)

【狙う波のイメージ(波のどこら辺を取りに行くか)を決める】事です。

例えば、僕がよく『M15足のMAの収縮に注目』と言っているのも短期足のセットアップの一要素です。

また、これも時折説明している事ではありますが、今日の話のメインディッシュ『H4～H1足の波の形成過程』です。

これは、波が生まれてから死ぬ(=新たな波の発生)までの過程の中で『自分がどの1波を狙うのか』を決めることで

一貫性とメリハリのあるチャート選定、監視、トレードをやって行こうという考えです。

▼概念図はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/220113_pic.png

※クリックするとポイントが付与されます

現状、図の中の 赤丸 を狙うのが僕の中での基本戦略になっていますが、毎回綺麗に動き出しの初動で分かりやすいパターンが出るわけではありません。

その場合、敢えて変なリスクを取らずに見送る場合も多いです。

そこで、今僕が検証しているのは、古典的なトレンドフォロー に回帰する考え方で

緑丸 のように、20SMAには届かずとも、より短期の足で小さな揉み合いのチャートパターンを作りながら

目線方向に続伸する波を取りに行く(グランビルでいう所のG3)スタイルにも取り組んでいます。

成果はいずれ、日々の発信でも共有しようと思いますので、気長に待っていてください(笑)

今日は『目線を固定』したら、その後エントリーに繋げるまでに考えるべき事に焦点を当ててみました。

それでは、また次回のメールで！

クロガキ(クロ)